

4. 地域別の施設整備状況

前章まで、公共施設の現状について、施設用途ごとに検証してきました。

これまでも述べてきましたが、本市の特徴として、平成17年の合併以降、旧1市3町でそれぞれ整備した施設をそのまま引き継いでいることが挙げられ、今後、公共施設の有効活用を推進していくためには、用途ごとの検証に加えて、各地域における施設の状況を整理した上で、それらを総合的に加味して、今後の施設等に関する方向性を検討していく必要があります。

第4章では、地域ごとのサービスと施設量について、概要と特性を整理していきます。

(1) 地域別の施設保有状況

本市の公共施設は、合併以前に、旧1市3町各々の市町がそれぞれに行政サービスを提供するために整備したものがほとんどであり、合併後、これらの公共施設は、新長門市に引き継がれ、設置目的や用途が同じ施設をそれぞれの地域ごとに保有している状況です。

現在の公共施設が、長門市の人口や面積規模にふさわしい適正な保有状況にあるのか検証が必要です。

◆各地域の主な保有施設（再掲）

	長門地区	三隅地区	日置地区	油谷地区
行政 系施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所庁舎 ・物産観光センター ・通、仙崎、俵山出張所 ・教育委員会事務庁舎 ・ケーブル放送センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・三隅支所（保健センター兼用） ・旧三隅支所 ・ケーブル放送センター三隅支局 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置支所（保健センター兼用） ・旧日置支所 ・ケーブル放送センター日置支局 	<ul style="list-style-type: none"> ・油谷支所 ・向津具、宇津賀出張所
社会 教育 系、市 民文 化系 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・通、仙崎、俵山、中央公民館 ・金子みすゞ記念館 ・くじら資料館 ・ながと歴史民俗資料室 ・市立図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗頭文化センター ・三隅公民館 ・香月泰男美術館 ・村田清風記念館 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置農村環境改善センター ・黄波戸漁村センター ・歴史民俗資料館 	<ul style="list-style-type: none"> ・向津具公民館 ・宇津賀集落センター ・ラポールゆや及び図書館分室
体育 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ながと総合体育館 ・通、青海島、大畑体育館 ・長門武道館 	<ul style="list-style-type: none"> ・上地区農業者健康管理センター ・農業者トレーニングセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンター ・B & G 海洋センター ・日置総合運動公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・文洋体育館 ・川尻体育館 ・伊上体育館 ・勤労者体育センター

第4章 地域別の施設整備状況

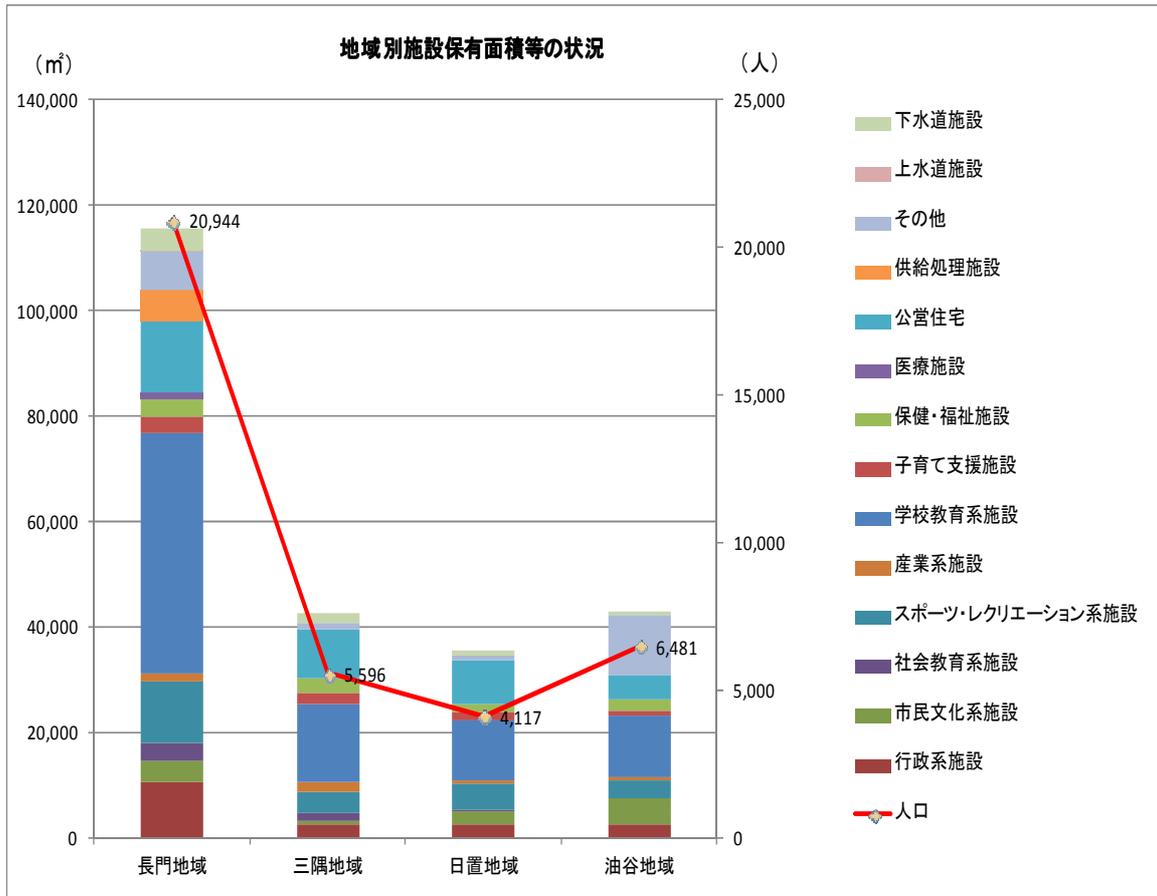
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者トレーニングセンター ・小河内グラウンド ・俵山多目的交流広場 ・総合公園テニスコート 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者スポーツセンター ・三隅総合運動公園 		<ul style="list-style-type: none"> ・油谷総合運動公園 ・油谷コミュニティパーク
学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・通、仙崎、向陽俵山、深川小学校 ・仙崎、深川、俵山中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・明倫、浅田小学校 ・三隅中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置、神田小学校 ・日置中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・油谷、向津具小学校 ・菱海中学校
保育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・通、東深川、みのり保育園 ・俵山幼児園 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗頭幼稚園 ・三隅保育園 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置、黄波戸保育園 	<ul style="list-style-type: none"> ・菱海、向津具保育園
市営住宅	通、小浜、仙崎、正明市、上川西、後ヶ迫、板持、田屋、立野、湯町の各住宅	下中小野、向山、殿村新開、向開作の各住宅	日置教職員住宅 亀山、上城、黄波戸駅前、長崎の各住宅	人丸第一、第二、第三、蔵小田、河原浦、伊上の各住宅
高齢福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉センター ・通地区シニアプラザ ・通老人憩いの家 ・仙崎老人憩いの家 ・深川老人憩いの家 ・田屋地区高齢者作業所 ・俵山高齢者生きがいの館 ・シルバーワークプラザ 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流センター ・はつらつステーション三隅 ・老人福祉センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉センター ・高齢者コミュニティセンター ・ふれあいプラザはまゆう日置 	<ul style="list-style-type: none"> ・角山老人憩いの家 ・川尻老人憩いの家 ・津黄高齢者センター ・向津具高齢者センター ・大浦高齢者交流センター
保健施設	<ul style="list-style-type: none"> ・長門市保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・三隅保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・油谷保健福祉センター
その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ・長門斎場 ・旧青海島小学校 ・旧向陽保育園 ・旧西深川保育園 ・旧通中学校 ・旧大畑小学校大峠分校 ・旧渋木児童館 	<ul style="list-style-type: none"> ・三隅斎場 ・旧学校給食センター ・旧宗頭小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・日置斎場 ・旧益習小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・油谷斎場 ・旧文洋小学校 ・旧大平小学校 ・旧川尻小学校 ・旧伊上小学校 ・旧油谷中学校 ・旧川尻保育所 ・旧伊上保育所 ・旧学校給食センター ・蔵小田交流館 ・宇津賀多目的交流館 ・伊上特産品販売センター

第4章 地域別の施設整備状況

各地域の施設保有面積等の状況を施設分類ごとに棒グラフで表し、各地域の人口を折線グラフで表したものが次のグラフになります。

地域別の施設保有面積は、長門地域が最も人口が多いことから保有面積が多くなっていますが、各地域とも、それぞれの人口に対応した施設保有面積となっており、合併以前に旧1市3町で整備した、さまざまな施設を保有していることがわかります。

◆各地域の施設保有面積等の状況

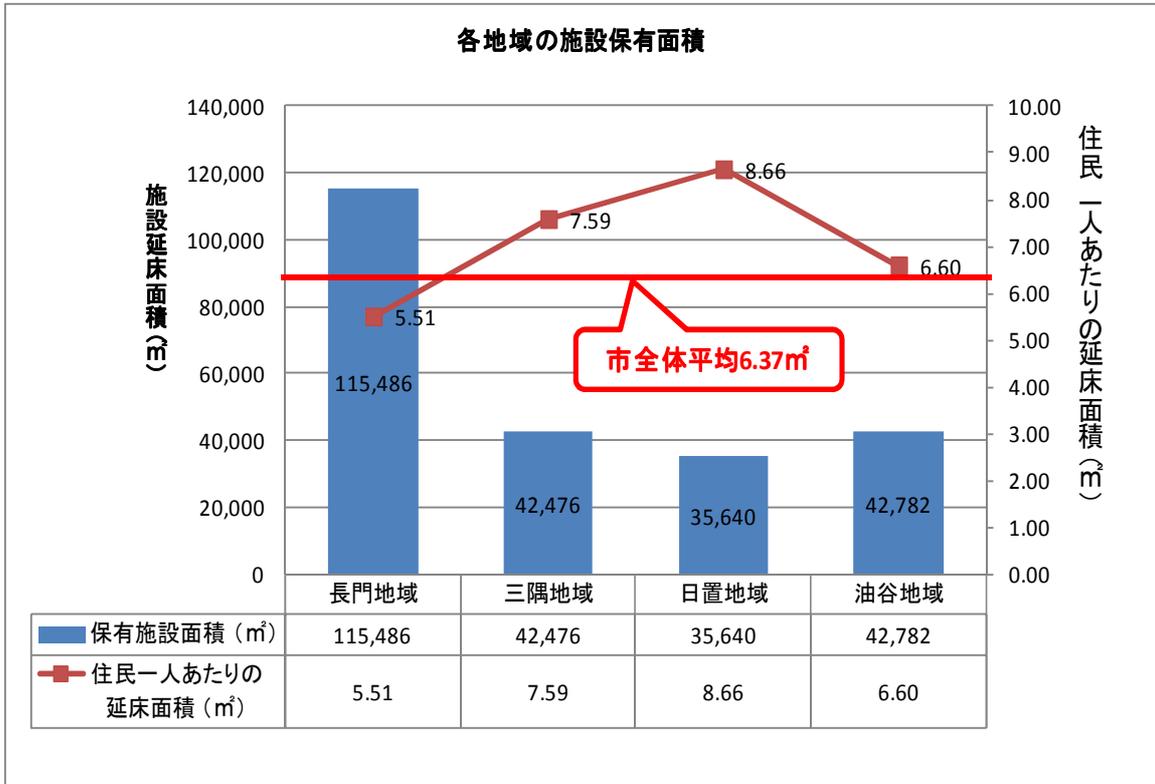


次に、各地域の住民一人あたりの施設保有面積を表したもので、地域住民一人あたりでは、市全体の平均が6.37㎡となっています。

地域別には、長門地域が最も保有面積は多いものの、人口が集積しているため、広い公共施設面積があっても1人あたり面積は小さくなる傾向にあり、長門地域が5.51㎡で最も少なくなっています。その一方で、日置地域が8.66㎡で最も多くなっています。

合併前の旧3町である三隅、日置、油谷地域では、人口が少ないこと等の理由から、いずれも市全体の平均より多くなっています。

◆各地域の施設保有面積



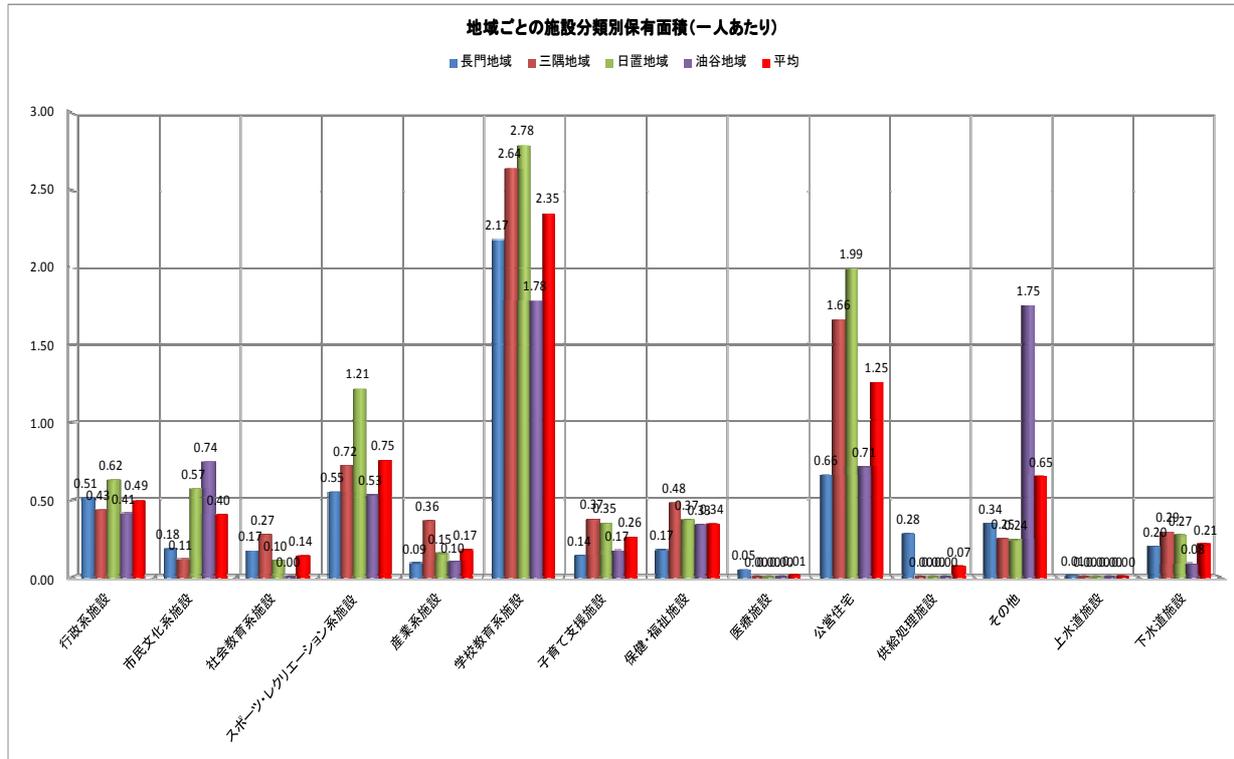
次ページの各地域で保有する施設の施設分類別の面積を見ると、市全体の特徴として、学校教育施設と公営住宅の占める割合が大きいのことがわかります。これは、一つ一つの施設規模が大きいためと考えられます。

地域ごとの特徴としては、三隅地区及び日置地区では公営住宅の割合が比較的高くなっています。

学校教育系施設では、油谷地区においては廃校になった小・中学校の施設が多いことが影響し、一人あたりの学校の保有面積が他地区に比べて少なく、その分、その他施設の割合が高くなっています。

市民文化系施設では、油谷地区にはラポールゆや（文化施設）があることから、市民文化系施設の保有面積が大きくなっています。なお、長門地域の保有面積が少なくなっていますが、長門地域には、山口県民芸術文化ホール（ルネッサながと）があり、市所有施設でないことから本書の対象にはなっていませんが、本市にとって市民文化系施設の中心的役割を担っています。

◆地域ごとの施設分類別保有面積（一人あたり）



(2) まとめ

本市の公共施設は、合併以前に、旧1市3町各々の市町がそれぞれに行政サービスを提供するために整備したものがほとんどであり、合併後、これらの公共施設は、新長門市に引き継がれ、設置目的や用途が同じ施設を地区ごとに保有している状況です。

地域住民一人あたりでは、市全体の平均が6.37㎡となっており、地域別には、長門地域が最も保有面積は多いものの、人口が集積していることから、長門地域が最も少なく、合併前の旧3町である三隅、日置、油谷地域では、人口が少ないこと等の理由から、いずれも市全体の平均より多くなっています。

地域ごとの施設分類別面積では、市全体の特徴として、学校教育施設と公営住宅の割合が大きく、その理由は、一つ一つの施設規模が大きいためと考えられます。

地域ごとの特徴としては、三隅地区及び日置地区では公営住宅の割合が比較的高くなっています。油谷地区においては廃校になった小・中学校の施設が多いことから学校系施設の市民一人あたりの保有面積が他地区に比べて少なくなっています。

市民文化系施設では、油谷地区にはラポールゆや（文化施設）があることから、市民文化系施設の保有面積が大きくなっています。なお、長門地域の保有面積が少なくなっていますが、長門地域には、山口県民芸術文化ホール（ルネッサながと）があり、市所

第4章 地域別の施設整備状況

有施設でないことから本書の対象にはなっていませんが、本市にとって市民文化系施設の中心的役割を担っています。

このように、サービスと施設量について、地域ごとの特徴がありますが、前章で述べたように、施設の中には、老朽化が著しいものや利用が少ない施設があるなど、課題も多数あります。今後、公共施設の有効活用を推進していくためには、さまざまな角度から施設の状況を分析し、必要性や今後のあり方について検討していく必要があります。